

相川地区「地域の水害避難マップ」④

避難行動 判定フロー

スタート →

Step 1
あなたの自宅の位置は何色?

家屋流失のおそれのある区域(××)に自宅がある
※木造家屋などの現行の建築基準に適合する一般的な建築物の倒壊・流失をもたらすような氾濫などが発生することが想定される一連の区域

10.0m~20.0m未満
5.0m~10.0m未満 (3階部分より上まで浸水のおそれ)
3.0m~5.0m未満 (2階部分まで浸水のおそれ)
0.5m~3.0m未満 (1階部分まで浸水のおそれ)
0.5m未満 (床下浸水のおそれ)

Step 2
あなたの自宅は何階建て?
(集合住宅の方は、住んでいる階数)

5階以上
1~4階
3階以上
1~2階
2階以上
1階

Step 3
あなたの家庭での行動の目安

立ち退き避難

洪水や土砂災害時には、大変危険な状況になることが想定されます。災害発生前の早めの避難が必要です。

自宅に待機も可能

浸水しても水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分にある場合は、自宅の上層階など、浸水のおそれがない場所に待機することも可能です。

あなたの避難行動は?

①避難先を書きましょう。

②避難する方法を書きましょう。

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域内に自宅があるか?

ある
ない

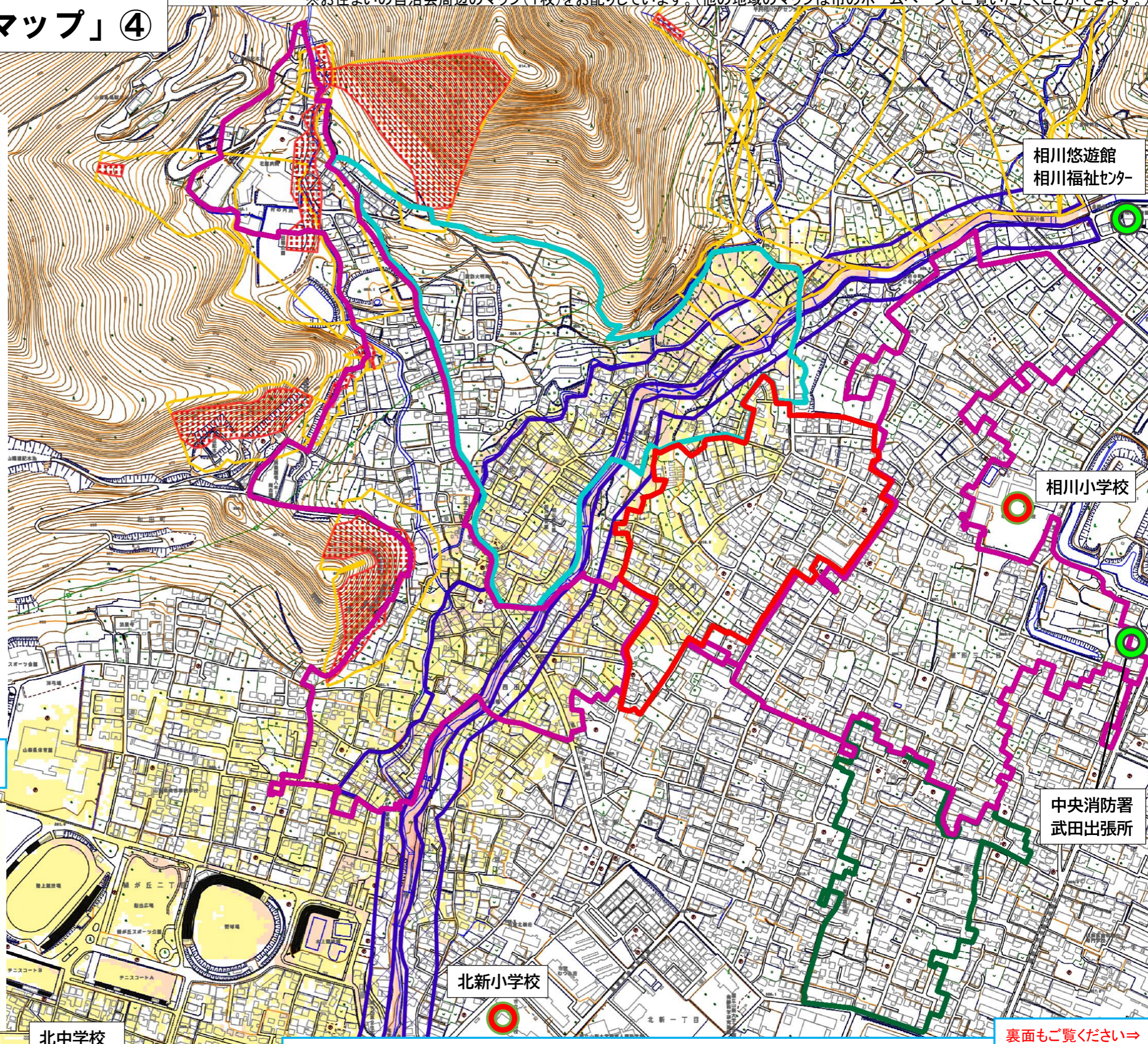
※判定フローの内容はひとつの目安です。身の危険を感じたら、自分の判断で命を守る行動をとりましょう。

凡例

- 指定避難所
- 官公署 (交番・消防署・市の施設など)
- 家屋流失のおそれがある区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

自治会境界色

- 小松
- 和田町
- 西田町
- 峰本
- 広小路



※対象河川の洪水浸水想定区域(裏面参照)を重ね合わせ、最大の浸水深を表示しています。
 ※洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域の範囲外でも災害は発生する可能性がありますので、状況に応じて適切な避難行動をとってください。
 ※ハザードマップは、対象河川の追加や新たな調査などにより変更となる場合がありますので、最新の情報は市ホームページからご確認ください。
 ※自治会の境界線や土地、建物などの状況については、現在の状況と異なる場合がありますのでご了承ください。

裏面もご覧ください⇒